



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年7月27日
上場取引所 東

上場会社名 ジャパンフーズ株式会社
 コード番号 2599 URL http://www.japanfoods.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細井 富夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 尾上 晋司 TEL 0475-35-2211
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	5,528	△38.1	1,054	65.5	1,053	66.7	703	75.3
27年3月期第1四半期	8,932	△14.6	637	△22.1	632	△21.2	401	△18.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	145.85	—
27年3月期第1四半期	83.21	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	16,394	7,676	46.8	1,591.72
27年3月期	15,302	7,064	46.2	1,464.85

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 7,676百万円 27年3月期 7,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		10.00	—	17.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	10,300	△34.2	1,620	104.6	1,640	107.2	980	105.2	203.20
通期	16,700	△32.8	680	1,043.1	700	1,059.8	390	—	80.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。

詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	5,100,000株	27年3月期	5,100,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	277,112株	27年3月期	277,112株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	4,822,888株	27年3月期1Q	4,822,888株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての内容等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀の金融政策などを背景に、企業収益及び雇用環境が改善に向かう等概ね堅調に推移いたしました。日経平均は堅調で百貨店販売も上向き傾向となっております。中国、東南アジアからの観光客の大幅増によりインバウンド消費は拡大したものの、円安による物価の上昇や消費税増税後の節約志向などから、個人消費全般の持ち直しの動きは弱く、まだら模様で推移いたしました。海外の経済情勢は、米国経済が堅調な一方、中国経済の鈍化並びにギリシャ金融不安によるユーロ圏経済への悪影響が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

飲料業界におきましては、昨年の消費税増税後の落ち込みの反動により、業界全体の販売数量は、去年同期比3%増(飲料総研調べ)となりました。

このような状況下、当社におきましては、新ライン(炭酸・非炭酸兼用の無菌充填ライン2ライン)を中心に、飲料メーカーの多種多様なオーダーに応える製造体制を整え、積極的に受注活動を行った結果、当第1四半期累計期間における受託製造量は143,030キロリットル(前期比2.2%増)、14,057千ケース(前期比4.5%増)となりました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は5,528百万円(前期比38.1%減)、営業利益は1,054百万円(前期比65.5%増)、経常利益は1,053百万円(前期比66.7%増)、四半期純利益は703百万円(前期比75.3%増)となり、一部客先の取引形態変更に伴い売上高が減少したものの、営業利益、経常利益及び四半期純利益のいずれにおいても過去最高を記録いたしました。なお、売上高の減少につきましては、ほぼ当初見込み通りで推移しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、4,525百万円となり、前事業年度末に比べ1,300百万円増加いたしました。これは主に、繁忙期に入り売掛金等が増加したことによるものであります。

固定資産は、11,868百万円となり前事業年度末に比べ209百万円減少いたしました。これは主に、機械及び装置の減価償却によるものであります。

この結果、総資産は、16,394百万円となり、前事業年度末に比べ1,091百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、3,793百万円となり、前事業年度末に比べ593百万円増加いたしました。これは主に、未払金が減少したものの、繁忙期に入り買掛金が増加したことや短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、4,923百万円となり、前事業年度末に比べ113百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、8,717百万円となり、前事業年度末に比べ480百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、7,676百万円となり、前事業年度末に比べ611百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成28年3月期の業績予想については、平成27年4月24日に公表しました予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、建物(建物附属を除く)及びリース資産を除く有形固定資産の減価償却方法については、従来主として定率法を採用していましたが、当第1四半期会計期間より定額法に変更しております。

国内飲料受託製造業においては一層の競争が予想されており、新生産技術の採用による競争力の強化が必要な状況となってきております。新生産技術への対応投資は大型化する傾向にあることから、今後の設備投資に関わる基本方針を策定いたしました。

かかる状況を契機として、有形固定資産の使用実態を見直した結果、安定した設備の稼働が見込まれること、また、その資産価値は均等に減価していると見込まれることから、使用可能期間にわたり、費用を均等に配分することが、経済的実態をより適切に反映すると判断し、変更するものであります。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期会計期間の減価償却費は96,885千円減少し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ96,885千円増加しております。

(会計上の見積りの変更)

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当第1四半期会計期間において、当社が保有する一部の有形固定資産について、設備投資に関わる基本方針に基づき、耐用年数を残存使用見込期間まで短縮しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期会計期間の減価償却費は21,791千円増加し、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ21,791千円減少しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	360,417	332,905
電子記録債権	596,612	1,375,429
売掛金	1,694,831	2,469,461
商品及び製品	29,296	21,996
原材料及び貯蔵品	180,207	136,826
その他	363,302	189,023
流動資産合計	3,224,668	4,525,642
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,763,949	7,764,204
減価償却累計額	△4,610,106	△4,674,726
建物(純額)	3,153,842	3,089,477
構築物	1,849,204	1,849,204
減価償却累計額	△1,538,257	△1,548,195
構築物(純額)	310,947	301,009
機械及び装置	25,690,821	25,890,193
減価償却累計額	△19,715,936	△19,993,681
機械及び装置(純額)	5,974,884	5,896,511
車両運搬具	48,601	48,601
減価償却累計額	△40,833	△41,643
車両運搬具(純額)	7,768	6,958
工具、器具及び備品	612,661	616,865
減価償却累計額	△495,721	△504,027
工具、器具及び備品(純額)	116,940	112,838
土地	440,755	440,755
リース資産	47,500	47,500
減価償却累計額	△7,686	△9,010
リース資産(純額)	39,813	38,489
建設仮勘定	47,678	12,886
有形固定資産合計	10,092,629	9,898,926
無形固定資産	149,290	144,255
投資その他の資産	1,836,017	1,825,684
固定資産合計	12,077,937	11,868,866
資産合計	15,302,605	16,394,508

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	705,166	1,112,021
短期借入金	150,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	440,252	433,252
リース債務	4,161	4,236
未払金	1,577,635	1,352,521
未払費用	28,732	31,058
未払法人税等	—	220,320
未払消費税等	186,089	149,371
預り金	14,878	45,637
賞与引当金	93,000	79,650
役員賞与引当金	—	15,600
その他	282	262
流動負債合計	3,200,198	3,793,932
固定負債		
長期借入金	4,935,387	4,833,324
リース債務	40,912	39,824
退職給付引当金	60,887	50,330
その他	389	405
固定負債合計	5,037,577	4,923,885
負債合計	8,237,776	8,717,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	628,800	628,800
資本剰余金	272,400	272,400
利益剰余金	6,307,425	6,928,832
自己株式	△264,622	△264,622
株主資本合計	6,944,002	7,565,409
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	121,094	111,559
繰延ヘッジ損益	△266	△277
評価・換算差額等合計	120,827	111,281
純資産合計	7,064,829	7,676,691
負債純資産合計	15,302,605	16,394,508

(2) 四半期損益計算書
(第 1 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月 30 日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月 30 日)
売上高	8,932,287	5,528,181
売上原価	7,747,649	3,923,340
売上総利益	1,184,637	1,604,841
販売費及び一般管理費	547,269	550,222
営業利益	637,368	1,054,618
営業外収益		
受取利息	4,951	—
受取配当金	288	343
保険解約返戻金	—	4,686
その他	7,618	2,405
営業外収益合計	12,858	7,435
営業外費用		
支払利息	9,701	5,774
その他	8,243	2,389
営業外費用合計	17,944	8,163
経常利益	632,281	1,053,890
特別損失		
固定資産売却損	1,141	—
固定資産除却損	2,902	—
特別損失合計	4,044	—
税引前四半期純利益	628,237	1,053,890
法人税、住民税及び事業税	205,500	369,500
法人税等調整額	21,441	△19,006
法人税等合計	226,941	350,493
四半期純利益	401,295	703,396

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。